

# 令和元年度 公益財団法人宮崎県国際交流協会事業実績報告書

本協会の事業計画に基づき、県民の参加による国際交流の推進、国際交流に関する情報の提供、外国人住民の支援及び国際化推進のための事業等を次のとおり実施した。

## 1 交流推進事業

### ① 国際交流サロン

カリーノ宮崎の会議室等を活用して、県民と外国人が気軽に交流できる場を提供した。

#### <国際ふれあいチャット>

県民と外国人が外国語で歓談する交流会を開催した。

場所：カリーノ宮崎地下1階

#### 英語（初級）

前期 4/6 ～ 7/27（隔週土曜） 全8回、延べ 49名参加

後期 10/19 ～ 2/8（隔週土曜） 全8回、延べ 70名参加

#### 英語（中・上級）

前期 4/13 ～ 8/3（隔週土曜） 全8回、延べ 110名参加

後期 10/12 ～ 2/15（隔週土曜） 全8回、延べ 86名参加

#### 韓国語（初級）

前期 4/11 ～ 8/8（隔週木曜） 全8回、延べ 121名参加

後期 11/7 ～ 2/13（隔週木曜） 全7回、延べ 77名参加

#### 韓国語（中・上級）

前期 4/18 ～ 9/12（隔週木曜） 全8回、延べ 75名参加

後期 10/17 ～ 2/20（隔週木曜） 全8回、延べ 53名参加

#### 中国語

前期 4/9 ～ 5/28（火曜） 全6回、延べ 29名参加

後期 1/14 ～ 2/18（火曜） 全5回、延べ 51名参加

#### <日本伝統文化体験講座（外国人向け講座）>

「雅楽体験講座」 開催日：7/6（土）25名参加

場 所：宮崎県総合博物館民家園

## ② 国際交流ボランティア養成・運営

通訳、文化紹介、ホストファミリー、日本語ボランティアの4つの分野でボランティア登録を行い、ボランティア登録者の活動を促進するとともに、資質向上のための研修会等を開催した。

<日本語学習支援者向け講座>

外国人の日本語学習の支援者を対象に、能力向上を目的とした講座を開催した。

・宮崎市

開催日：11/2～1/18（全8回 ※各回3コマ）延べ216名参加

場 所：カリーノ宮崎地下1階会議室

・延岡市（基礎講座として実施）

開催日：12/1～12/22（全4回 ※各回3コマ）延べ40名参加

場 所：延岡市中小企業振興センター会議室

<日本語学習支援者のための講演会>

開催日 11/17（土）

場 所 宮崎県企業局県電ホール

内 容 佐賀県の事例をもとに、地域の日本語教育の展開や役割についての解説等を行う講演会を開催した。（参加者24名）

## ③ 国際交流展示

外国人住民が作成した絵画や写真等の展示や、外国人住民と日本人住民が交流するイベントを行った。

（来場者数 1,591名）

<「外国人が見た宮崎」作品展>

開催日：11/20（水）～11/30（土）

場 所：カリーノ宮崎地下1階

内 容：本県に住む外国人の方々が感じた宮崎の印象・想いを絵画・写真・書道などで表現した作品を集めた展示会を開催した。

（作品数：36点、14カ国地域）

<世界とトモダチ みやざき国際フェスタ>

開催日：11/23（土）

場 所：宮崎市若草通り内

内 容：・ステージイベント（4か国、19名）

・世界の国ブース（7カ国）

・県内国際交流団体・協力団体などのブース（6団体）

・日本伝統文化体験ブース

・JICAブース

・スタンプラリー

#### ④ 宮崎超フェスへの参加

宮崎青年会議所主催の宮崎超フェスに参加し、当協会のブースを出展した。

開催日：6/2（土）104名参加

場 所：宮崎市中央公民館前

内 容：当協会ブースで、外国の楽器等の展示のほか、事業・講座の案内等を行った。

## 2 情報提供事業

#### ① インターネット・広報紙等による情報提供

情報誌「国際プラザニュース」発行 毎月（4,300部／1回）

（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語）

協会誌「South Wind」発行 年2回（2,700部／1回）

協会ホームページによる情報提供等

協会ホームページへのアクセス件数（16,670件）

外国語による生活情報提供

「Living in Miyazaki（宮崎の暮らし）」を英語で宮崎日日新聞に月1回、季節ごとに身近な話題をとりあげて掲載。

（例）国際プラザの紹介、運転免許の切り替え、地震、インフルエンザ など

#### ② ワーキングホリデー説明会

ワーキングホリデーに関する手続きや体験談を交えた説明会を開催した。

開催日：7/27（土）（11名参加）

場 所：カリーノ宮崎地下1階会議室

#### ③ 国際プラザ運営事業

国際プラザにおいて、県民ボランティアを活用しながら、外国人や県民に各種生活情報の提供、専門機関の紹介、図書の貸出等を行った。

《令和元年度国際交流協会利用者実績》

11,821人（うち外国人 2,811人）

《国際プラザ利用者数》

7,011人（うち外国人 2,198人）

《図書貸し出し数》

672件（うち外国人 121件）

《相談件数》

425件（うち外国人 71件）

### 3 外国人住民支援事業

#### ① 多文化共生社会推進事業

＜自治体職員向け外国人支援のための防災講座・意見交換会＞

県内の自治体職員等を対象に、行政に求められる外国人のための防災や災害時における外国人支援等に関する講座を開催した。

開催日：7/23（火） 36名参加

場 所：宮崎市民プラザ

＜外国人住民支援講座＞

自治体職員等を対象に、事例から見る多文化社会におけるこころの支援（外国人が抱えるストレスや相談を受ける上での留意点等）をテーマとした講座を開催した。

開催日：9/4（水） 16名参加

場 所：宮崎市民プラザ

＜外国人住民向け防災セミナー＞

外国人留学生等を対象に、地震や津波についての講話のほか、起震車体験や応急手当等について学ぶセミナーを開催した。

開催日：10/26（土） 105名参加

場 所：宮崎東諸県広域防災センター

※外国人のための防災講座、外国人災害サポートボランティア養成講座は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施を見送った。

#### ② 外国人住民等相談窓口運営事業

＜みやざき外国人サポートセンターの運営＞

外国人住民等からの生活・就労等に関する相談を対面又は電話、メール等で受け付け、適切な情報提供及び関係機関への取次ぎを行った。（10/26～3/31）

受付時間：火曜日～土曜日 午前10：00～午後7：00

相談件数 232件

＜出張相談会＞

外国人住民等に対する出張相談会を開催し、窓口への来所が難しい外国人住民等に対面での相談対応を行った。

ア 宮崎市

日時：12/22（日）

場所：白浜オートキャンプ場

相談：0件

イ 延岡市

日時：1/25（土）

場所：延岡市中小企業振興センター

相談：1件

- ウ 日南市  
日時：2/9（日）  
場所：創客創人センター  
相談：1件
- エ 川南町  
日時：2/16（日）  
場所：生涯学習センター  
相談：3件
- オ 三股町  
日時：2/23（日）  
場所：三股町中央公民館  
相談：0件

<外国人住民法律・生活相談事業>

- ・外国人住民の相談に母国語で応対できる相談員を配置（相談件数20件）  
6カ国語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）
- ・法律生活相談の募集（弁護士・行政書士による相談対応 ※申込無し）

<外国人住民等への情報提供>

- ・生活情報冊子 2,000部
- ・防災パンフレット 4,000部
- ・ホームページ、フェイスブックによる情報提供

<関係機関を交えた連絡会議>

開催日 12/25（水） 42名  
場 所 カリーノ宮崎地下1階会議室

**③ 地域日本語教育体制整備事業**

i 日本語教育体制の構築

<総括コーディネーターの配置>

本事業の総括を行うコーディネーターを配置する。

8/1付けで次の者をコーディネーターとした。

（公財）宮崎県国際交流協会 小原 幸恵

<地域日本語教育コーディネーターの配置>

地域や外国人の実態・特性を把握し、ニーズに応じた日本語教育プログラムの企画・調整を行う地域日本語教育コーディネーターを県内4地域（県北・県央・県南・県西）にそれぞれ配置した。配置状況は次のとおり。

県央：清水志穂、友重直美

県南：吉元愛美

県西：高柳香代

県北：原田真理

市町村を対象としたアンケート調査を実施し、回答があった中から外国人住民が多い市町村を地域日本語教育コーディネーターが訪問しより詳細な意見等を聴取するとともに、日本語教室実施に向けた協力依頼、地域別意見交換会への参加要請等を行った。

<有識者>

当事業への助言等を行う有識者として、次の6名に委嘱。

伊藤 健一（宮崎大学国際連携センター 准教授）

高柳 香代（多文化共生ネット・九州 主宰）

大庭 みづほ（日本語教師）

日高 光子（日本語教師）

田中 利砂子（南九州短期大学国際教養学科講師）

山中 鉄斎（宮崎情報ビジネス医療専門学校国際部 部長）

<総合調整会議等の開催>

・事業推進会議の開催

当事業の実施方針等の検討のため、宮崎県、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会で構成される会議を実施。

日 程：11/15（金）

場 所：カリーノ宮崎地下1階会議室

出席者：13名

・総合調整会議の開催

地域や外国人の実態・特性を踏まえた日本語教育の推進施策について協議を行う場として宮崎県、各市町村、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会で構成される会議を実施。なお、今後の日本語教育に関する意見交換等を目的としたワークショップも実施。

日 程：2/14（金）

場 所：カリーノ宮崎地下1階会議室

出席者：32名

<地域別意見交換会の開催>

地域における外国人の実態・特性や日本語教育のニーズの把握や当事業への市町村からの要望等の聞き取り、今後の当事業実施への理解・協力の要請等を目的に、県内4地域で意見交換会を実施した。出席者は市町村担当者、有識者（県央、県南のみ）、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター（地域ごとにそれぞれの担当者）、宮崎県国際交流協会。実施状況は次のとおり。

県央：2/18（火）

宮崎市 カリーノ宮崎地下1階会議室

出席者17名

県南：2/21（金）

日南市 小村記念館

出席者8名

県北：2/10（月）  
延岡市 延岡市中小企業振興センター  
出席者9名

県西：2/17（月）  
都城市 未来創造ステーション  
出席者10名

< 県内の日本語教育の実施状況の視察 >

今後の日本語教育体制づくりの参考とするため、有識者、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、宮崎県国際交流協会職員で、県内において実施されている日本語教育の現場を視察した。

日 程：1/31（金）

視察先：都城市国際交流協会主催「日本語れんしゅう会」  
宮崎市国際交流協会主催「みんなで日本語会」

< 日本語学習支援者向け講座 > ※再掲 p3 1②

< 日本語学習支援者のための講演会 > ※再掲 p3 1②

< 日本語教育シンポジウムの開催 >

地域における日本語教育に関する意識啓発等のシンポジウムを宮崎大学との共催（宮崎大学主催）で開催した。

日 程：2/15（土）

場 所：宮崎市 カリーノ宮崎地下1階会議室

参加者：66名

ii 日本語教育の実施

< 日本語講座・地域日本語教室の開催 >

地域コーディネーターが各地域の実情を把握した上で、平日あるいは週末、昼間あるいは夜間など時間帯の設定、習熟度に合わせてカリキュラムの作成を行い、地域や外国人のニーズを踏まえた日本語教室を開催する。

ア 宮崎市（テキストを使用した講座形式で実施）

○カリーノ宮崎地下1階

初級1（前期）：4/9～7/18（全25回） 延べ82名参加

初級1（後期）：9/3～11/28（全25回） 延べ43名参加

初級2：9/3～12/3（全25回） 延べ131名参加

○宮崎大学国際連携センター

初級：10/29～2/4（全25回） 延べ121名参加

○宮崎総合学院

初級：11/28～2/13 全20回 延べ63名参加

イ 県央地区（日本人住民との交流を交えた教室として実施）

日 程：2/16（日）

場 所：川南町 生涯学習センター

- 参加者：14名（うち外国人11名）  
内 容：自己紹介のしかた、防災に関する日本語、ボードゲームを通じた日本語会話の練習等
- ウ 県南地区（日本人住民との交流を交えた教室として実施）  
日 程：2/9（日）  
場 所：日南市 創客創人センター  
参加者：17名（うち外国人13名）  
内 容：自己紹介のしかた、日南での生活をテーマとした会話の練習等
- エ 県西地区（日本人住民との交流を交えた教室として実施）  
日 程：2/23（日）  
場 所：三股町 中央公民館  
参加者：16名（うち外国人9名）  
内 容：自己紹介のしかた、災害時の日本語、自分が住む町の紹介等
- オ 県北地区（日本人住民との交流を交えた教室として実施）  
日 程：1/25（土）  
場 所：延岡市 延岡市中小企業振興センター  
参加者：60名（うち外国人32名）  
内 容：歌などを交えた多言語のアクティビティ、ごみの種類や捨て方に関する日本語等

#### <日本語れんしゅう会の開催>

県内で生活する外国人を対象とし、日本語ボランティアが各参加者（外国人住民）の日本語のレベルや希望する学習内容に応じ、マンツーマン方式での日本語の指導を行う。

宮崎市 カリーノ宮崎地下1階会議室にて毎週水・金（10:30～11:30）実施。  
延べ672名参加

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2/21の実施を最後に休止。

#### <オンライン学習の周知・啓発>

本事業による日本語教室等以外でも外国人住民が自ら学習できるよう、国際交流基金が提供する無償のオンライン教材について、協会ホームページや日本語教室におけるチラシの配布・説明等により周知・啓発を行った。

#### <日本語スピーチコンテストの開催>

県内で生活する外国人（留学を含む。）が日本語学習の成果を確認するとともに、それを聞く全ての人たちに新たな視点を与え、違いを知る好機として相互理解を図ることを目的に、日本語のスピーチコンテストを開催した。

11/30（土）、カリーノ宮崎地下1階会議室にて実施。発表者は14名。



## 4 国際化推進事業

### ① 国際化推進助成事業

国際交流団体の支援（補助団体 1団体、50千円）

- ・ 台湾・宮崎音楽交流会 50千円

### ② 国際理解・開発教育支援事業

<県民向け国際理解講座>

ホストタウン登録国（イギリス・ドイツ・イタリア・カナダ）の生活・文化等を紹介する講座を開催し、県民のホストタウン登録国への理解、交流の推進を図った。

- ・イギリス編 6/1（土） 宮崎市青少年プラザ 30名参加
- ・ドイツ編 11/3（土） イオンモール宮崎 317名参加 ※見学含む
- ・イタリア編 11/3（土） イオンモール宮崎 34名参加
- ・カナダ編 11/3（土） イオンモール宮崎 387名参加 ※見学含む

<イングリッシュキャンプ イン 青島>

小学生4～6年生を対象に、外国人青年との交流活動と英会話を通して、英語に対する興味関心を高めるとともに、参加者相互の交流を図った。

開催日：2/8(土)～2/9(日)

場 所：宮崎県青島青少年自然の家

参加者：県内の小学校4～6年生36名、外国人10名

<多文化共生アドバイザー派遣>

地域で開催する多文化共生社会づくり、異文化理解等を目的とした学習会に多文化共生アドバイザーを派遣した。

派遣数：11件

派遣先：幼稚園3件、中学校1件、高校2件、大学1件、その他4件

（講座参加者数：計592名）

<国際理解教育（講座）支援>

- ・ワールドボックスの貸し出し（11件）
- ・国旗の貸し出し（13件）

### ③ 国連運動普及啓発事業

当協会は日本国際連合協会の宮崎県本部となっているため、令和元年度も宮崎県奨学会主催で行われたコンクールの後援を行った。

<国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール>（地方大会）

開催日：8/26（月）

場 所：日南市国際交流センター小村記念館

内 容：原稿応募多数の中から選ばれた10名が、国連の役割やより人権が守られる世界の実現等をテーマに弁論発表を行った。

結 果：最 優 秀 賞：仲本愛（宮崎第一高等学校）  
優 秀 賞：清水優吾（宮崎西高等学校）  
宮崎日英協会会長賞：與倉大誠（都城西高等学校）

## 5 その他

### **公益財団法人宮崎県国際交流協会の管理運営**

- ・ 県委託事業管理
- ・ 宮崎ブラジル親善協会委託事業管理
- ・ 協会管理